

「大きくなって戻ってきてね」 小網代湾でマダイの稚魚放流

17日(木)に、小網代湾で、名向小学校の3年生31名が、マダイの稚魚放流を行いました。

最初に、神奈川県栽培漁業協会の方から、「なぜ稚魚放流が必要なのか」というお話がありました。養殖と栽培漁業の違いについてや磯焼けの状況についても説明されました。



続いて、子どもたちが、シューターを使って、次々に稚魚を放流していきました。子どもたちは、シューターで流れていく稚魚に「大きくなって戻ってきてね」と呼び掛けていました。一人3回体験できましたが、子どもたちはもっとやりたかったようです。

小パール隊の皆さん、ありがとうございました。



東京大学三崎臨海実験所の新教育棟の見学その2

8日(火)に見学した東京大学三崎臨海実験所の新教育棟。前回のネットワーク通信で紹介できなかった、展示室の見学で見学者に貸し出されるPPコート紙でできている(アルコール消毒ができる)冊子とオオグソクムシの水槽の写真です。



展示室の見学の後、実習室や研究室も見学させていただきました。右の写真は、ウミシダ(棘皮類で、ウニと同じ仲間)をはさんで、泳ぐところを見せてくれた時のものです。写真の上部には、ウニも見えます。



左の写真は、研究用の小さい水槽です。生物の研究では、小さいものを扱うことが多いので、特別に注文したそうです。



コロナ禍のため、一般の公開には、もうしばらくかかるとのことでした。市教研部会等の見学の相談は、下記の電話番号で、担当渋谷までご連絡ください。

SDGsについてその4 SDGsのポスターについて

14日(月)の通送で、海藻おしば協会からいただいたA3版のSDGsポスター(右の写真)を送付しました。掲示等して、児童・生徒に紹介していただければと思います。

最近、テレビの番組やCMで、SDGsに触れることが多くなっています。「サステナブル」という言葉もよく聞かれます。皆さんも、SDGsについて意識を高めていただければと思います。

三浦市では、三浦市の学校教育全体構想で、「育てたい三浦の子ども像を育むための9つの具体的な取り組みについて、SDGsの視点を踏まえて推進する」と明記しています。市内の学校でも、SDGsについて学習する機会が増えていきます。



みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、

三浦市教育委員会まで 882-1111 (内線428)